

北アルプス



No.52

令和7年8月1日 発行

公益社団法人
北アルプス広域
シルバー人材センター

大町市大町4113番地
TEL22-2445 FAX23-5033
<https://webc.sjc.ne.jp/kita-alps/>

シルバーだより

暑中お見舞い申し上げます



若一王子神社 大町市 photo AC Mr. アルプさん提供



令和6年度 長野県シルバー人材センター連合会

安全標語最優秀作品

慣れてなお 守る基本が 身を守る

令和7年度 定時総会が開催されました

令和7年度定時総会は、5月27日（火）、サン・アルプス大町において開催されました。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となった一昨年から、全会員に総会への出席をご案内してまいります。コロナ前には及びませんが、出席者68名、委任状304名、計372名



久保田 肇 大町市民生部長
竹内 浩平 小谷村副村長
原 勇一 松川村副村長
宮澤 達 池田町副町長

の出席がありました。

総会では、

有賀理事長のあいさつ

に続き、公務のためご

欠席の矢口

総池田町長に代わり、構成市町村を代表してのご祝辞を宮澤達副町長が代読されました。

宮澤敏文県議からはご祝辞、公務のためご欠席の奥村健仁県議からはメッセージを頂戴しました。

また、御来賓には、松川村副村長原勇一様、小谷村副村長竹内浩平様、大町市民生部長久保田肇様のご臨席を賜りました。

議事では、議長に小谷地区の荻澤津代志氏を選出し、令和6年度事業報告、



荻澤 津代志 議長

収支決算報告、理事の補充選任が上程され、全ての議案が原案どおり承認されました。



宮澤 敏文 県議会議員

理事長あいさつ要旨

理事長 有賀 奨

野山の緑が一段と濃い季節となりました。

本日は公私ともに大変お忙しいなか、公益社団法人北アルプス広域シルバー人材センター令和7年度定時総会にご出席くださりまして、ありがとうございます。

また、本日は公務で忙しい中を、宮澤県議会議員をはじめ、構成市町村から多くの来賓の皆様のご臨席をいただき誠にありがとうございます。



会員の皆様には、日頃当センターの運営に深いご理解とご協力をいただきお礼を申し上げます。

さて、令和6年度の事業実績でございますが、契約金額は請負、派遣合わせて2億9863万円、前年度対比635万円の減額となりました。減額となった主な理由は、大町市発注の水道メーター検針業務が約900万円、管内の特別養護老人ホーム3施設の夜間管理業務が約600万円契約解除となりました。

また、事故件数は傷害事故、損害賠償事故合わせて前年より10件増の15件が発生しました。蜂刺され事故が6件、飛石による損害賠償事故が5件あり、草刈作業時の事故が3分の2を占める残念な結果となりました。

シルバー事業において、最も重要なことは、会員の皆様が安全な環境の中で落ち付いて、安心して働けることです。時間的余裕を持ち一人ひとりが日々気を付けましょう。今年度も安全就業委員会の安全パトロールを実施するとともに、会員から安全標語を募集するなど、安全意識の啓発に努め、「事故ゼロ」を目指してまいります。

次に年度末会員数は522名となり、前年度から27名の減でした。入会者数はこの3年間で最も少ない57名でした。企業の人手不足と定年延長や雇用延長義務の影響により新規会員の増加は困難な状況となっています。

一方退会者数は、昨年と同数の84名で、本人の病気や高齢化、家族の介護のために退会しています。

世界の各地では紛争が続く、国内では燃料や原材料の価格が高騰するなか、急速に進む人口減少と高齢者社会において、地域経済を支える役割がシルバー人材センターに大きく求められています。今後も引き続き地域の期待に応える活動を展開してまいります。

最後に、会員互助会の役員改選により任務を終了される皆様方には、長年にわたり会員互助会の事業運営にご尽力され、功績は誠に顕著でありました。今後のご指導をよろしくお願いいたします。

結びに、当センターの事業運営に対しさらなるご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、御来賓、会員の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

理事の異動について

(4月1日付 大町市の人事異動)

退任理事

久保田 肇 民生部長

新任理事

太田 浩司 福祉課長

令和6年度 事業報告

請負等では、大町市水道検針業務と特別養護老人ホームの夜間管理業務がなく、前年度比3.1%の減でした。一方、派遣事業では、約204万円、8.4%の増となりましたが、全体では約635万円減、前年度比2.1%の減です。

令和6年度事業実績

1、会員登録数	522名	前年度比95.1% (27名減)
2、事業実績		(前年度比)
契約金額	298,634,012円	(97.9%)
・公 共	106,373,671円	(92.3%)
・民間事業所	104,743,716円	(95.1%)
・一般家庭	61,148,745円	(110.5%)
・派遣	26,367,880円	(108.4%)
就業延日人員	52,679人	(99.1%)
就業率		83.9% (101.4%)

地区別会員数並びに契約金額実績

地区名	会員数	契 約 金 額 (単位:円)			
		令和5年度	令和6年度	増 減 額	前年対比(%)
大 町	202人	112,840,372	104,175,107	△8,665,265	92.3
池 田	120人	84,556,727	88,664,091	4,107,364	104.9
松 川	134人	71,792,529	67,273,294	△4,519,235	93.7
白 馬	54人	30,925,694	33,738,735	2,812,041	109.1
小 谷	12人	4,862,584	4,782,785	△79,799	98.4
計	522人	304,977,906	298,634,012	△6,343,894	97.9

STOP! 転倒災害

転倒・転落は交通事故の4倍以上
あせらない、急ぐ時ほど落ち着いて

全国で65歳以上の転倒・転落による死亡者数は9,509人 交通事故は2,150人

R3 人口動態調査

安全・適正就業委員会

令和6年度

資料提供 長野県シルバー人材センター連合会

県内シルバーで22件の転倒事故が発生!!

1 作業床が滑り転倒した

- ・石垣の上で足を滑らせて転倒
- ・川に足を滑らせて転倒した。
- ・平らな床面でつまずき転倒した。
- ・雨で濡れたコケの上に乗って転倒した。

・道路が凍っていて滑って尻もちをついた。

・積雪により足を滑らせて転倒

・凍結した道路で転倒した。

・凍結した路面で足を滑らせて頭及び腰部を強打した。

・土手で足を滑らせて池に落ちた。

2 障害物によるつまずき、引っかけり転倒した

・斜面の木の根に足が引っかけり転倒した。

・暑さの中での疲労もあり、段差により膝を捻挫した。

・傾斜地でつる草に足を引っかけり転倒した。

・はかりのコードにつまずき、膝をついて転倒した。(膝蓋骨折)

・台車に気付かず台車に足を引っかけり転倒した。

・針金に足が引っかけり転倒した。

・ゴムマットにつまずき額をぶつけて出血した。

3 バランスを崩して転倒した

- ・杭を手で修正しようとしてバランス崩して転倒した。
- ・無理な姿勢で作業をしてバランスを崩し転倒した。

4 踏み外して転倒した

・段差があることに気付かず足を踏み外す。

・階段で足を踏み外して転倒。

5 自転車で転んで転倒した

・自宅に帰る途中に自転車で転んだ。(後頭部外傷)

・橋の手前で自転車ごと転倒した。

転倒の原因と防止策

1 加齢により筋肉が衰える

①日頃から、こまめに体を動かして体力の維持に努めましょう。

②バランスの良い食事をしましょう。

2 加齢により運動機能、バランス機能が低下

作業に伴う危険性を過小評価しないでください。

3 常に足元に注意しましょう

①階段は、一段一段慎重に、手すりを使って上り下りしましょう。

4 転倒防止の運動をしましょう

- ①日常生活に、ラジオ体操やストレッチ体操を取り入れましょう。
- ②体操により、筋力の維持及びアツプをはかりましょう。

②滑りやすい場所は、滑りにくい靴を使用し小さな歩幅で歩行しましょう。

事務局だより

新任職員の紹介



矢口 浩幸
小谷事務所 長



橋井 雅江
大町事務所 総務担当

小谷村社協内に事務所があります。会員の皆様が気持ち良くお仕事ができますよう、お手伝いさせていただきます。
6月1日付

慣れないことが多くご迷惑をおかけしますが、一日も早く業務に慣れるよう頑張ります。よろしくお願ひします。
4月1日付

事務局職員体制

●本所

事務局長 北沢 一人
総務担当 橋井 雅江
庶務担当 鈴木 舞子
安全推進員 川上 穰

●大町事務所

業務担当 山岸 賢司
川上 穰

●池田事務所

業務担当 小田切 隆
池本 里子

●松川事務所

業務担当 白澤 俊之
立花 もと子

●白馬事務所

業務担当 武田 茂

●小谷事務所

業務担当 矢口 浩幸

●連絡担当員

美麻地区 清水 一弘
八坂地区 降旗 興平

退職職員

令和7年3月31日付
大町事務所 佐藤 久美
令和7年6月30日付
小谷事務所 松澤 秀明
お世話になりました

会員互助会総会開催

令和7年度会員互助会定時総会は、シルバー人材センター総会に引き続き開催されました。



平林前会長

平林操会長のあいさつではじまり、議長に海川明文氏（大町）を選出し、議事に入りました。

会則の一部改正、令和6年度事業報告並びに決算報告、幹事選任の4議案は全て承認されました。

また、令和7年度事業計画及び収支予算が報告されました。

新たな正副会長及び幹事は次のとおりです。

互助会新役員

会長	鈴木 澄雄（大町・再）
副会長	中山登志男（池田・再）
幹事	腰原多壽子（大町・再）
〃	小林 博一（大町・新）
〃	小林 宣文（池田・新）
〃	上條 勝（松川・新）
〃	上條美代子（松川・再）
〃	横田 孝穂（白馬・再）
〃	辰巳 明（小谷・新）



辰巳 横田 上條(美) 上條(勝) 小林(宣)



小林(博) 腰原 中山副会長 鈴木会長

新会長あいさつ

鈴木 澄雄

互助会総会の役員改選により、各地域から9名の幹事が選出され、今年度の活動が始まりました。

会議を重ねながら、活動の柱となる会員親睦旅行と日頃お世話になっている地域の皆様への感謝の意を表す社会奉仕活動を事務局と協力して準備を進めています。

世はまさに超高齢化社会の真ただ中にあり、私たちの周囲も難問が山積みですが、いつに変わらぬシルバーパワーで日々の仕事や同好会活動など、仲間との交流を共に楽しんで、お互いの免疫細胞の活性化をはかりましょう。

皆様からの互助会への提言やご意見、そして事業参加を一同心よりお待ちしております。

会員親睦旅行

『東伊豆・熱海温泉の旅』

のご案内です

本年度の親睦旅行は、11月18日（火）、19日（水）の一泊二日の日程で計画いたしました。個人負担金は3万円です。

■1日目、バスは小谷村から南下し、長野道・中央道、東富士五湖道路、新東名・伊豆縦貫道を経由し、「伊豆フルーツパーク」で昼食。午後は、「伊豆国一宮 三島大社」と「熱海来宮神社」を参拝してから、「熱海ニューフジヤホテル」に宿泊します。

■2日目は、熱海ビーチライン・真鶴道路を経由し、小田原「鈴廣かまぼこの里」でお買物、沼津市内で昼食とお買物を楽しんだ後、朝霧高原で休憩し帰路につきます。

詳細な行程につきましては、8月下旬の参加募集に合わせてお知らせします。

大勢の会員の皆さんの参加をお待ちしています。

奉仕活動への参加を

10月のシルバー人材センター事業普及啓発促進月間に合わせ、地域への感謝をこめて、各地区において公共施設の清掃などの社会奉仕活動と懇談会を予定しています。

各事務所からご連絡をします。日程を調整していただき多くの会員の皆様の参加をお願いいたします。



シルバー人材センターにご相談ください



技能分野

樹木消毒
冬囲い、取りはずし
ふすま、障子張替え
大工仕事、ペンキ塗り
車の運転 など



事務分野

一般、経理、受付事務
毛筆筆耕、賞状書き
宛名書き など



集配・管理

施設管理
駐車場管理
宿・日直、集配
水道の検針 など

こんな仕事をお引受けします

きっとお役に立ちます元気な高齢者



農作業

田畑の草刈 畑耕耘
草取り 作業の補助
葉摘み 収穫 など



屋内・屋外作業

除草 清掃
不用品の片付け
雪片付け など



福祉・家事援助サービス

掃除 洗濯
留守番 など



派遣給与の支払日

2月分	1月分	12月分	11月分	10月分	9月分	8月分
3月31日	2月27日	1月30日	12月30日	11月28日	10月31日	9月30日
(火)	(金)	(金)	(火)	(金)	(金)	(火)

配分金の支払日

2月分	1月分	12月分	11月分	10月分	9月分	8月分
3月13日	2月13日	1月15日	12月15日	11月14日	10月15日	9月12日
(金)	(金)	(木)	(月)	(金)	(水)	(金)

会員募集中

高齢者がこれまで培ってきた経験、知識、技能を活かし、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、働くことを通じて地域社会に役立つことを目指しています。

会員になるには、おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある方で、入会説明会にご出席いただき、シルバー事業の趣旨をご理解のうえ、入会するかど

うかを判断していただくこととなります。

入会説明会は、毎月第3木曜日、午後1時30分からシルバー人材センター本所（大町）で開催しています。

各事務所の連絡先

*大町事務所	22-2445
*池田事務所	62-8045
*松川事務所	61-1401
*白馬事務所	72-8220
*小谷事務所	82-2430

編集後記

連日暑い日が続いています。突然、携帯電話の呼出音が鳴る。急いで画面を見ると迷惑電話の表示。鳴り終わるまであえて待つことにする。このような状況が月二回ほど発生している。昨今、このような迷惑電話、詐欺電話が横行しているので、皆様も常に気を張って、電話を取る時には不審な電話には充分気を付けたいものです。酷暑を迎え、熱中症警戒アラートが高まり、屋外はもちろん、室内温度管理にも留意。水分補給など自己管理に努めましょう。

広報委員として一年が過ぎ経験不足ですが皆様のご期待に沿えるよう微力ながら取り組む所存ですのでよろしくお願いたします。

(若松記)